

令和6年度指標モニタリング (2月末時点)

【評価基準】

指標ごとに、下記の区分により4段階で評価する。

評価	区分	評価の考え方
◎	計画どおり概ね順調である。	計画の達成に向けた、具体的成果がある。又は目標を達成した。
○	ほぼ順調である。	計画に対して具体的に取組んでおり、一定の成果が認められる。
△	やや遅れている。	計画に対する取組はあるものの、まだ成果に現れていない。取組が不十分。
×	かなり遅れている。	計画に対して取組が行われているとは言えない。消極的。

指標モニタリング【広島病院】

モニタリング指標		R6 目標	取組内容 (2月末まで)	結果 (基準進捗)	自己 評価	今後の取組・状況説明	
医療機能の強化	医療提供体制の強化	救急車受入台数	7,300台	■重症者、受入困難者について極力断らない方針を徹底し、新任医師に対する指導等にも取り組んでいる。	6,811台 (6,692台)	◎	■引き続き、現状の取組みを行っていく
		脳血管系と心血管系の新規入院患者及び救急外来からの緊急入院患者数	3,000人	■主任部長の連携医療機関訪問 ■救急患者の積極的受入れ	2,462人 (2,750人)	△	■できる限り断ることなく、救急患者の引き受けを続けていく
		緊急母体搬送受入件数	150件	■総合周産期母子医療センターとして妊婦の受入要請には可能な限り応需することを徹底している。	121件 (137件)	○	■総合周産期センターとして、すべての要請に応需できるよう体制を整えた結果、応需率は100%である。引き続き、取組みを続けていく。
		手術支援ロボットによる手術件数	200件	■手術予定枠に空きがある場合には、他科と共有する等して円滑な運用に取り組んでいる。	195件 (183件)	◎	■引き続き、現状の取組みを行っていく
		内視鏡的粘膜下層剥離術件数	250件	■手術件数自体が前年度より上昇傾向にある。	241件 (229件)	◎	■引き続き、現状の取組みを行っていく
		がんゲノムプロファイリング検査	100件	■がんゲノム拠点病院として、積極的に検査を行っている。	87件 (91件)	○	■引き続き、現状の取組みを行っていく
その他	入院期間Ⅱ 超え割合	23%	■DPCの標準期間が短縮となった疾病クリニカルパスの見直しや副傷病名のコード確認を実施し、それに基づき在院日数を適正化	24.2% (23.0%)	○	■引き続き、現状の取組みを行っていく	
経営基盤の強化	経営力の強化	新規入院患者数	20,000人	■院長より各診療科に対して月別の新規入院患者数を提示し、目標値を意識させている。	15,476人 (18,333人)	△	■紹介患者、救急患者の受入を積極的に続けていく
		入院単価	90,000円	■在院日数の適正化、処置・手術の増加、各種の加算の積極的算定などを実施している。	86,682円 (90,000円)	○	■引き続き、現状の取組みを行っていく
	増収対策						

指標モニタリング【安芸津病院】

モニタリング指標		R6 目標	取組内容 (2月末まで)	結果 (基準進捗)	自己 評価	今後の取組・状況説明
医療機能の強化	医療提供体制の強化	救急搬送受入件数	<ul style="list-style-type: none"> ■カンファレンス等で医師に断らない方針を周知 ■当直・宿直等での受入件数、断り件数・内容を関係者で共有 	349件 (385件)	△	■引き続き、毎日断った事例について、院長が確認し問題事例は指導を行う。毎週カンファレンスにおいて、救急車の受入れを断らない事を周知する。
		専門外来受診患者数 (糖尿病、人工関節、骨粗鬆症、フットケア)	<ul style="list-style-type: none"> ■ホームページで専門外来をPR ■院内掲示など院内での周知や外来で対象となる患者へ案内実施 	1,308人 (1,375人)	○	■現行の取組を継続
		健(検)診件数	<ul style="list-style-type: none"> ■ホームページで健(検)診内容をPR ■外来でのがん検診等の受診を勧める声かけ 	3,751件 (3,450件)	◎	■現行の取組を継続
		訪問看護新規者数	<ul style="list-style-type: none"> ■外来等での新規利用者の掘り起こしを依頼 ■在宅医療委員会での電話訪問や退院支援の状況の共有等 	29人 (32人)	△	■医師、外来スタッフに対象となる患者がいる場合、案内を行うなど掘り起こしを依頼する。
経営基盤の強化	経営力の強化	新規入院患者数	<ul style="list-style-type: none"> ■毎週末のカンファレンスで医師・看護師に、現在の病床の空き状況を示して、積極的な新規受入を依頼 	1,040人 (962人)	◎	■現行の取組を継続
		増収対策	地域包括ケア病床稼働率(29床)	<ul style="list-style-type: none"> ■毎朝、看護部に病棟・外来師長が集まり、病棟・外来間の情報交換を行うなど、効率的なベットコントロールの実施 ■地域医療施設への訪問実施等により、地域包括ケア病床への入院を促進 	87.6% (98.0%)	△

【参考】月次目標値(令和6年度)

【広島病院】

重点指標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度末
救急車受入台数	608	608	608	608	608	608	608	609	609	609	609	608	7,300台
	1,824			1,824			1,826			1,826			
脳血管系と心血管系の新規入院患者及び救急外来からの緊急入院患者数	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	250	3,000人
	750			750			750			750			
緊急母体搬送受入件数	12	13	12	13	13	12	13	12	12	13	12	13	150件
	37			38			37			38			
手術支援ロボットによる手術件数	16	17	17	16	17	17	16	17	17	16	17	17	200件
	50			50			50			50			
内視鏡的粘膜下層剥離術件数	20	21	21	21	21	21	20	21	21	21	21	21	250件
	62			63			62			63			
がんゲノムプロファイリング検査	8	8	9	8	8	9	8	8	9	8	8	9	100件
	25			25			25			25			
入院期間Ⅱ超え割合	23.0	23.0	23.0	23.0	23.0	23.0	23.0	23.0	23.0	23.0	23.0	23.0	23.0%
	23.0			23.0			23.0			23.0			
新規入院患者数	1,666	1,667	1,667	1,667	1,667	1,666	1,667	1,667	1,666	1,667	1,666	1,667	20,000人
	5,000			5,000			5,000			5,000			
入院単価	90,000	90,000	90,000	90,000	90,000	90,000	90,000	90,000	90,000	90,000	90,000	90,000	90,000円
	90,000			90,000			90,000			90,000			

【参考】月次目標値(令和6年度)

【安芸津病院】

重点指標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度末
救急搬送受入件数	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	420件
	105			105			105			105			
専門外来受診患者数	125	125	125	125	125	125	125	125	125	125	125	125	1,500人
	375			375			375			375			
健(検)診件数	0	150	300	350	350	350	450	450	450	300	300	50	3,500件
	450			1,050			1,350			650			
訪問看護新規者数	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	35人
	8			9			9			9			
新規入院患者数	87	87	88	87	88	88	87	87	88	87	88	88	1,050人
	262			263			262			263			
地域包括ケア病床稼働率(29床)	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0%
	98.0			98.0			98.0			98.0			